

やまと

広報

9月号
2015 No.241

特集①

第24回 ひらとみ祭り開催

特集②

平成26年度 大和村一般会計決算報告

もくじ

- 02-03 特集：ひらとみ祭り
- 04-05 特集：平成26年度 大和村一般会計決算報告
- 06-09 村の話題：赤十字奉仕団研修ほか
- 10-10 連載：どうぐさむんがたり（大和診療所だより）
- 11-15 お知らせ：国保の届け出ほか
- 16-16 連載：野山の旬



1



2



第24回

ひらとみ祭り

思勝湾地区一帯の祭り会場（エンガの部決勝戦）



3



4



5



6

①あまみ紬人によるステージショー②エンガの部優勝の奄美病院チーム③地元高校生チームふーきんたまーず④夜空を彩る打ち上げ花火⑤千昌夫さんのステージショー⑥大和の園職員チーム

大和村の夏の大イベント「第24回ひらとみ祭り」は、8月30日（日曜日）、大和思勝湾地区一帯で開催されました。例年8月最終土曜日に開催していたひらとみ祭りですが、今年から開催曜日を日曜日に変更しての開催。当日は絶好の天候に恵まれ、村内外から多くの人々が来場しました。

奄美の夏祭りの風物詩・舟漕ぎ競争や豪華ゲストを多数迎えてのステージショー。フィナーレには満月の夜空に大輪の花火が咲き、会場は終日歓声に包まれました。



開饒神社での豊作祈願祭

大和村思勝集落に建立されている「開饒（ひらとみ）神社」には、サトウキビの栽培を広めた直川智（すなおかわち）翁が祀られ、祭りはこの神社から名づけられています。

祭りの安全とサトウキビの豊作、産業繁栄を祈願し主催者と関係者が参列し、群島各地から届いた「豊作祈願書」と共に玉串を捧げました。

祭りのメインイベントでもある伝統の舟漕ぎ競争では、村内外から83チームが参加し、今シーズン最後の白熱したレースを展開しました。メラブの部では、昨年優勝した「ふうだなあまんぎやるず」の2連覇に期待が集まりましたが、惜しくも準決勝で敗退し悔し涙を流しました。しかし、エンガの部で華々しい活躍を見せたのは、「ふーきんたまーず」。地元の高校生チームで4月頃から練習を開始し、舟漕ぎに打ち込んできました。1回戦から予選タイム1位と好調な滑り出しで、順当に決勝戦へ駒を進めました。決勝戦で惜しくも奄美病院に敗れ準優勝となりました。しかしながら、近年地元チームのレベルアップには、目を見張るものがあります。かつての大和村の舟漕ぎ全盛時代を彷彿とさせる時が近いのかもしれない。

夜のステージショーでは、子どもたちに大人気のキャラクターが登場し、臨場感あふれるステージショーに会場は大盛況。また、大和村出身の麓和幸さん、肥後陽子さんがユニットを組む「あまみ紬人（つむぎんちゅ）」が楽しいトークと島唄を披露し、観客を再び盛り上げると大トリの千昌夫さんが登場し、自身のヒット曲と熱い歌声で会場を魅了しました。

祭りのフィナーレは、2000発の打ち上げ花火。テンポ良く打ち上げられると、鮮やかに夜空を彩り、来場者は過ぎ行く夏を惜しみました。

舟漕ぎ競争の結果は、次のとおりです。

□エンガの部①奄美病院 Dream II ②ふーきんたまーず③小湊町内会

□メラブの部①大笠利郷友会②みっちゃんむっちゃん③頓原 Shynees

□集落対抗エンガの部

①国直②湯湾金③津名久

□集落対抗メラブの部

①大和浜②津名久③大棚

歳出

平成 26 年度歳出決算は 3 1 億 4 1 万 5 千円
で前年度の 2 7 億 1 7 0 2 万 6 千円と比較して
3 億 8, 3 3 8 万 9 千円（14%）増加しました。

歳出増額の主な要因は、普通建設事業費
が 9 億 4, 6 5 2 万 2 千円と前年と比較して
4 億 8, 3 5 5 万 2 千円（104%）増加したことによ
るものです。

また、歳出決算の目的別構成比は消防費が 27%
と最も高く、総務費（18%）、公債費（15%）、民
生費（11%）、衛生費（7%）の順となっています。

歳出を性質別に分類すると普通建設事業費が
31%と最も高く、以下、人件費（17%）、公債費
（15%）、物件費（12%）、補助費等（7%）、繰出金
（7%）の順となっています。前年度比較で見ると、
投資的経費が 64%増加し、人件費や物件費などの
消費的経費が 3%増加しました。投資的経費の増加
の要因は、防災センター整備、大金久防災会館整備、
防災関連施設整備事業費等によるものです。

人件費や扶助費、公債費など毎年経常的に支出し
なければならない経費が増加することにより財政の
弾力性が失われ、安定的な行政サービスの提供が困
難になります。「最小の経費で最大の効果」を揚げ
るためにも、徹底した歳出の見直しが求められます。

消費的経費 任意に削除できない経費

人件費	職員給与や議員報酬など
物件費	消耗品などの購入経費など
補助金等	各種団体への補助など
扶助費他	手当や支援など

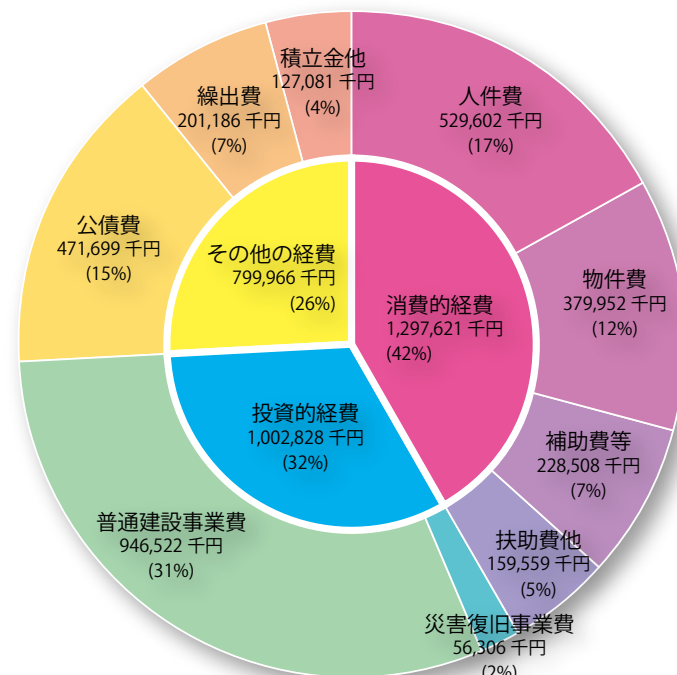
投資的経費 支出の効果が将来に残る経費

災害復旧事業費	災害復旧に使われたお金
普通建設事業費	建設事業に使われたお金

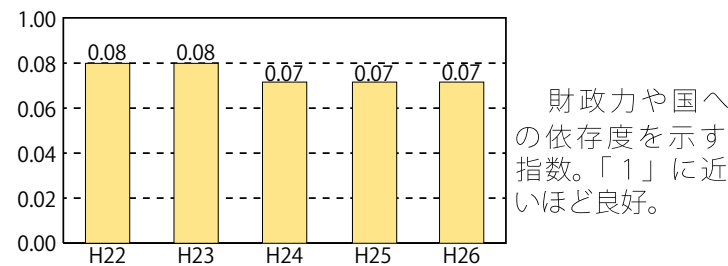
その他の経費 上記二つの経費以外の経費

公債費	借金の支払い
繰出金	特別会計へ繰り出したお金
積立金他	預金利子ほか

歳出総額 31 億 41 万 5 千円の性質別内訳

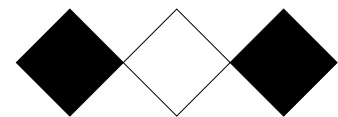


財政力指数の推移

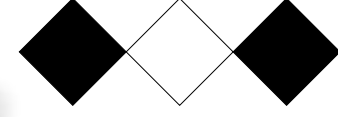


平成 26 年度大和村一般会計の収支状況

(A) 歳入総額	32 億 5,446 万 4 千円
(B) 歳出総額	31 億 41 万 5 千円
(C) 歳入歳出差引残額	1 億 5,404 万 9 千円 (A) - (B)
(D) 翌年度へ繰越すべき財源	8,292 万 5 千円
(E) 実質収支	7,112 万 4 千円 (C) - (D)
(F) 単年度収支	△ 369 万 6 千円 (E) - 前年度の (E)
(G) 積立金	1 億 2,134 万円
(H) 繰上償還	2,780 万円
(I) 預金取り崩し額	1 億 1,300 万円
(J) 実質単年度収支	3,244 万 4 千円 (F)+(G)+(H) - (I)



平成 26 年度 大和村一般会計決算報告



9 月 24 日、大和村議会第 3 回定例会本会議において平成 26 年度決算が認定されました。大和村における平成 26 年度一般会計の歳入総額は、3 2 億 5, 4 4 6 万 4 千円。歳出総額は 3 1 億 4 1 万 5 千円。歳入から歳出を差し引いた額は 1 億 5, 4 0 4 万 9 千円。翌年度に繰り越すべき額を差し引いた実質収支は 7, 1 1 2 万 4 千円の黒字となりました。

平成 26 年度は「自然と共生し、安心して住みよい村づくり」を基本理念に①行財政改革の推進による健全財政の確立②農林水産業の振興による特産品の開発及び販路の拡大③定住促進対策による村の活性化④子育て支援及び教育環境の充実⑤道路交通網、情報通信網、生活環境の整備促進⑥防災力の強化による安全・安心な村づくり⑦高齢者福祉の充実の 7 つをの基本方針を定め、村づくりに取り組みました。

歳入

平成 26 年度歳入決算は 3 2 億 5, 4 4 6 万 4 千円
で、前年度の 2 8 億 1, 5 8 1 万 9 千円と比較して
4 億 3, 8 6 4 万 5 千円（16%）増加しました。

歳入増額の主な要因は、国庫支出金が 6 億 5, 5 1 0 万 8 千円と前年度と比較して
2 億 6, 5 3 7 万 1 千円（68%）増額したことによ
るものです。

歳入決算の主な構成比は地方交付税が 49%と最
も高く、以下国庫支出金（20%）、村債（11%）、
県支出金（5%）、繰入金（4%）の順となっています。

歳入を性質別に分類すると、村が独自で調達する
ことのできる「自主財源」が 4 億 3, 0 6 6 万 8 千
円（13%）。国や県から村にはいる「依存財源」が
2 8 億 2, 3 7 9 万 6 千円となっています。

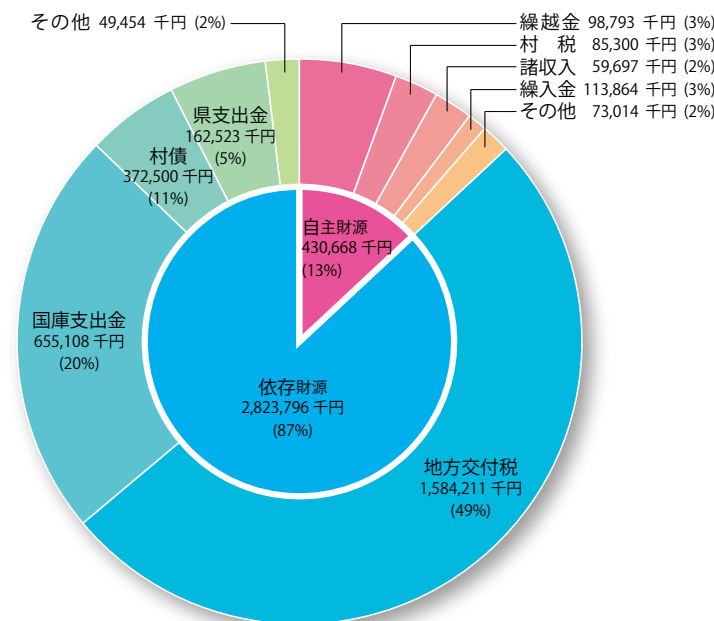
依存財源 国や県から村に入るお金

地方交付税	村の状況に応じて国から貰うお金
国庫支出金	事業を行うために国から貰うお金
村債	村が借り入れるお金
県支出金	事業を行うために県から貰うお金
その他	地方譲与税・地方消費税交付金・地方特例交付金・その他交付金

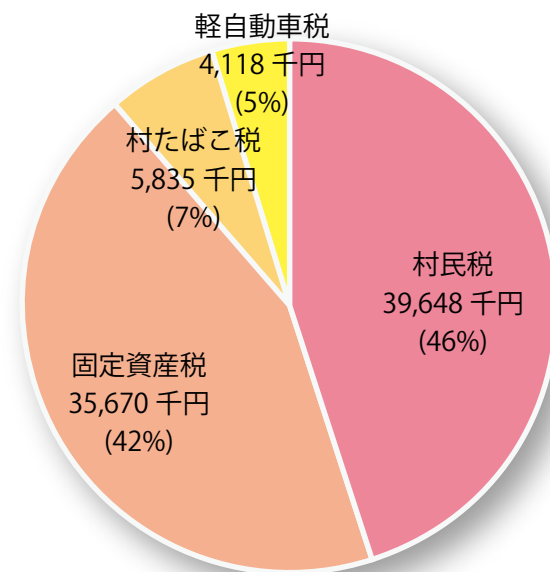
自主財源 村が独自に調達するお金

繰越金	前年度からの持ち越し
村税	住民税や固定資産税などの税金
諸収入	預金利子など
繰入金	基金などからの繰り入れ
その他	使用料及び手数料・財産収入・寄付金・分担金及び負担金

歳入総額 32 億 5,446 万 4 千円の歳入内訳



村税収入 8 5, 3 0 0 千円の税別内訳



各地で熱戦！郡体開催！

大和村グラウンド・ゴルフチーム 2度目の優勝果たす

第69回県民体育大会第56回大島地区大会（主催：奄美群島市町村体育協会・郡体）が7月18・19日の2日間、奄美群島内12市町村において開催されました。本村からは全22競技のうち12競技に出場。群島各地で繰り広げられた白熱の試合結果をお知らせします。

大和村では、5連覇がかかったラグビーフットボールが奄美フォレストポリスのふれあい広場で開催されました。予選から好ゲームを展開してきた大和村チームでしたが、決勝戦の対奄美市戦で22対19と惜しくも敗退し、奄美市が5年ぶりの優勝を飾りました。勝利の女神が微笑んだのは、グラウンド・ゴルフ。昨年の成績を大きく上回り7年ぶり2度目の優勝を果たしました。

2日間の熱戦を繰り広げた選手や大会運営に参加された関係者のみなさん、お疲れ様でした。なお、競技

の結果は以下のとおりです。

水泳（男女総合） 第3位 / 水泳（女子総合） 第3位 / バドミントン 第5位 / サッカー 第5位 / 軟式野球 第5位 / ソフトボール 第5位 / グラウンド・ゴルフ 第1位 / ゴルフ 第11位 / 陸上競技 第10位 / ラグビーフットボール 第2位



喜界町森崎岩夫氏提供

海のもしもは118

水難事故に備えて着衣水泳

大柵小学校（山口美帆子校長・児童21名）では7月16日に夏休み中の子ども達の海や川での安全を守ることを目的として、水上安全教室を開催しました。

講師には、海上保安庁第十管区奄美海上保安部巡視船あまぎの溜範男通信長や潜水士など、海上保安官4名が来校しました。

まず児童たちは服を着たままプールに入り、仰向けの状態で体を浮かす練習をしました。服に含んだ水の重さでバランスをとるのに難儀していましたが、徐々に慣れてくると1分間は上手に体を浮かせるようになっていました。さらに、2リットルの空のペットボトルを抱いて体を浮かしてみると、何も掴んでいない時と比べて楽に体を浮かせることを発見。

この後も、ペットボトルを用いた救助訓練や救命胴衣の実験なども行い、子ども達はコツを上手に掴みな

がら訓練に励んでいました。

最後に溜通信長から子ども達に「常に波のある海には、たとえ泳ぎが得意でも甘くみないように。海に行くときなどは必ず救命胴衣を付け、事故がないよう安全に過ごしてください。」と講話がありました。



「安心」と「交流」の新たな拠点

今年度2月完成・来年度4月運用開始予定

大和村中央公民館跡地に平成26年6月より大和村防災センター本体工事の建設工事が始まり、鉄筋コンクリート3階建て（一部4階）が平成27年3月完成しました。

延床面積1,860㎡、事業費は約8億円で国の社会資本整備総合交付金事後事業を活用し、事業費の7割を国が負担します。

平成22年の奄美豪雨災害時に消防分駐所や中央公民館が冠水し防災機能を果たせなかった教訓から、敷地周辺を1.5m程度かさ上げし災害時に備えました。また、主な施設として、一階部分に消防分駐所を併設し、避難所や非常用発電機、備蓄倉庫を備え災害時の対応を強化しました。さらに平時においては、村民の健康づくりなど交流の場としての機能を拡充しました。

今年度5月からは外構工事が始まり、続いて消防署

解体工事、車庫建設工事などを施工し、平成27年2月頃に完成する予定です。

なお、工事期間中は、近隣の方々には何かと不便なこともあると思いますが、細心の注意を払って作業していきますので、ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



赤十字奉仕団研修会

地域女性連絡協議会など100名が受講

地域女性連絡協議会（三田富喜子会長）は7月11日、大和村赤十字奉仕団研修会を開催しました。今回は土曜日に開かれたこともあり、地域女性連絡協議会会員はじめ、子どもや大和中学校テニス部の部員など約100名が研修に参加。非常炊き出しや救命処置の手順、赤十字の活動について学びました。

非常炊き出し訓練では、熱に強いポリ袋（ハイゼックス）を用いて米を炊く訓練を実施。ハイゼックスは、容器や食器が不要で箸を使わずに食べることができ、小分けで配送、携帯など取り扱いが便利という優れもの。しょうゆや塩で味を付け、沸騰したお湯に入れて30分ほど煮ればできあがりです。

救命処置の訓練では人工呼吸、胸骨圧迫、AEDの使用手順の説明を受けた後、人形を使って傷病者の発見から救命処置の模擬体験を行いました。胸骨圧迫は、1分間に100回のテンポという高速で連続圧迫する

ことが理想とされていますが、「うさぎとかめ」のリズムにのって圧迫するとやりやすいと、講師に教えてもらおうと、子ども達は「もしもしかめよ～かめさんよ～」と歌声を響かせながら救命処置を体験。「何度も押すのは疲れたけど、おもしろかった」と楽しみながら救命処置を学んだようです。



老若男女が集まり祈祷祓い

思勝集落・キトバレ踊り

思勝集落（永野誠光区長・66世帯）では、9月19日に「第35回キトバレ踊り」が開催されました。

アラセツ、シバサシ、ダウンガはシマのミハチガツと（八月三節）と呼ばれ、奄美大島各地で八月踊りが行われます。以前は三日三晩かけて集落全戸を回ったと聞きますが、現在は公民館やトネヤ（集落の守り神を祀る家）など集落の数カ所で踊るのが一般的です。キトバレ踊りもまた存続の危機がありましたが、青壮年団を中心に復活させ、キトバレ（祈祷祓い）の願いを込めて踊りました。日暮れ頃になると、集落のトネヤである玉井俊一さん宅に青壮年団や婦人会が集まり集落の安全祈願をした後、玉井さん宅の庭先で「三足踏（あしなれ）」を踊りました。各会場に移動した後もチヂンを打ち鳴らし、男女の唄の掛け合いやハト笛が響くと会場は盛り上がりを見せていました。

今年は第30回国民文化祭かごしま2015「大和村国民文化祭」が11月15日に開催され、村内8集落が八月踊りを披露します。村内においても集落ごとで八月踊りは多種多様。それぞれの地域性を垣間見ることができます。一同に会するまたとない機会ですので、みなさまぜひ会場へお越し下さい。



タンカンソフトクリームも商品開発

平成27年度第3回大和村子ども議会開催

将来の大和村を担う子ども達に、行政や議会の仕組みを知ってもらおうと、8月12日、第3回大和村子ども議会が開催されました。子ども議会は、村内の小学5、6年生の中から選ばれた8名の議員が日頃から感じている身の回りのことや大和村の将来について質問を行うもの。子ども達は議場の雰囲気には臆することなく堂々と意見を述べ行政への提案を行いました。

子ども議員からの質問は、「県道沿いの通学路に落石があるので、安心安全に学校へ通えるよう危険な場所を直して欲しい」（徳島成さん・大和小学6年）といった、切実な声や「スモソフトクリームが発売されたのはうれしいけれど、お小遣いで買うには高すぎます。また、小学生だけで大和村に買いに行くことはできないので、移動販売もしてほしい。そしてタンカンのソフトクリームも発売してはどうですか」（細川嶺さん・大和小学6年）といった、するどい指摘や提案が出されました。閉会行事で藤井俊郎教育長は、「一人ひとりが住み心地の良い大和村にしていこうという気持ちを感じられました。みなさんが大和村の魅力だと思う場所・行事・モノを、これからも大切にしてください。」と子どもたちを称えました。



五穀豊穰を祈願して十五夜豊年祭

手作りの土俵になつかしむ声

大和村には11の集落があり、豊年祭は八月十五日を祭り日とする「十五夜豊年祭」と、九月九日を祭り日とする「クガツクンチ」の二種類に別れます。いずれも平日の開催では運営が困難なため、直近の日曜日に引き寄せて開催しています。9月27日（日）には、津名久・大和浜・大和・大金久・戸円集落で十五夜豊年祭が行われました。通常、各集落に設置してある公民館前の土俵で豊年相撲を執り行いますが、津名久集落（三田文麿区長・76世帯）では、公民館が建て替え中のため今年に限り、集落の青壮年団が手作りした土俵で豊年相撲が行われました。土俵は、四本柱にシイの木が立てられ、集落のお年寄りから話を聞いて準備が進められました。当時を知る中山昭二公民館長によると、津名久集落の以前の公民館が完成した昭和42年頃まで毎年手作りで土俵を作っていたと言います。また、昔はソテツと並ぶ大事な食料であ

ったシイの実、飯、粥、おじや等の身近な食べ物から味噌、焼酎、醤油等を作るにも材料となり、多くの恩恵をもたらしたものでした。その畏敬の念から柱はシイの木と決まっていたと言います。近年では見られなくなった光景がこうして復活すると、集落のお年寄りからはなつかしむ声があがっていました。



これからも楽しい毎日を。健やかに。

村内の敬老者に敬老年記念品を贈呈

40年以上続く村独自の事業である敬老年金と敬老年記念品の贈呈が9月18日に行われました。本村に居住する70歳以上の高齢者に敬老年記念品が贈られ、75歳以上の高齢者には敬老年金も贈呈されました。全集落に伊集院大和村長が訪問し集落の代表者へ手渡すと、対象者のみなさんは喜びの表情を見せました。

大和集落では伊集院村長が「日頃より集落の活性化にご尽力頂き誠にありがとうございます。皆さんが自分自身で体力づくり、健康づくりに取り組まれている成果が集落の元気の源になっていると思います。これからも運動教室など積極的に参加して、楽しみの場を増やし笑い合って過ごしてください。」と挨拶すると、敬老者の代表として奥枝敬三さんから「数ある行事の中でも一番みんなの顔がほころぶ行事の一つです。近年は老人クラブの会員人数も減ってきました。しかし、

大和小学校の学校応援団はじめ、いろいろな行事に積極的に参加し、村長たちのお尻をたたくように元気にすごしましょう。」と会場を沸かせました。

各集落公民館では、記念品の贈呈にあわせ老人クラブの会合やカラオケ大会などを開催。高齢者の賑やかな声が集落に響き、明るい1日となりました。



国保の届け出はお済みですか

国民健康保険の手続き

国民健康保険に加入するとき、またはやめるときなどは、14 日以内に国保（役場保健福祉課）に届け出が必要です。

【国保に加入するとき】

- ・職場の健康保険をやめたとき
- ・職場の健康保険の被扶養者からはずれたとき
- ・ほかの市区町村から転入したとき
- ・子どもが生まれたとき
- ・生活保護を受けなくなったとき

加入の届け出が遅れると

○国保税は加入の届け出をした月からではなく、加入の資格を得た月から納めるので、加入の資格を得た時点までさかのぼって納めなければならなくなります。

○保険証がないため、その間の医療費は全額自己負担となります。

【国保をやめるとき】

- ・職場の健康保険に加入したとき
- ・職場の健康保険の被扶養者になったとき
- ・ほかの市区町村に転出するとき
- ・死亡したとき
- ・生活保護を受け始めたとき

やめる届け出が遅れると

○ほかの健康保険に入ったとき、国保をやめる届け出をしないと、国保の保険税とほかの健康保険の保険料を両方とも支払ってしまうことがあります。

お問合せ先：役場保健福祉課（国保窓口）



生活困窮者自立支援制度が始まりました

生活の不安や心配ごとを抱えていたら、ご相談ください。

平成 27 年 4 月から生活困窮者への支援制度が始まりました。あなたが抱えている生活の不安や心配など、お困り事がありましたら、まずはご相談ください。相談は無料で秘密は厳守します。相談窓口では一人ひとりの状況に合わせた支援プランを作成し、専門の支援員があなたに寄り添いながら、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行います。

〈相談から支援までの流れ〉

①まずは相談窓口へ

就労や家庭、心身の問題などをまずはご相談下さい。

②生活の状況を見つめる

あなたの生活の状況と課題を分析し「自立」に向けて寄り添いながら支援を行います。

③あなただけの支援プラン

支援員はあなな意思を尊重しながら、自立に向けた目標や支援内容を一緒に考え、あなただけの支援プランを一緒に作ります。

④支援決定・サービス提供

完成した支援プランは自治体を交えた関係者の話し合いにより正式に決定され、その支援プランに基づいて各種サービスが提供されます。

⑤定期的なモニタリング

各種サービスの提供がゴールではありません。あなたの状態や支援の提供状況を支援員が定期的に確認し、支援プラン通りにいかない場合は支援プランを再検討します。

⑥真に安定した生活へ

あなたの困り事が解決されると支援は終了しますが、安定した生活を維持できているか、一定期間、支援員によるフォローアップがなされます。

【ご相談・問い合わせ先】

社会福祉法人大和村社会福祉協議会

電話：0997-57-2090

受付日時：8 時 30 分～ 17 時 15 分

月～金曜日（祝日・年末年始を除く）



どうくさむんがたり

大和診療所だより
VOL.2

緩和ケア ～患者と家族 心と体のサポート～

文／前田 亜希子（看護師）

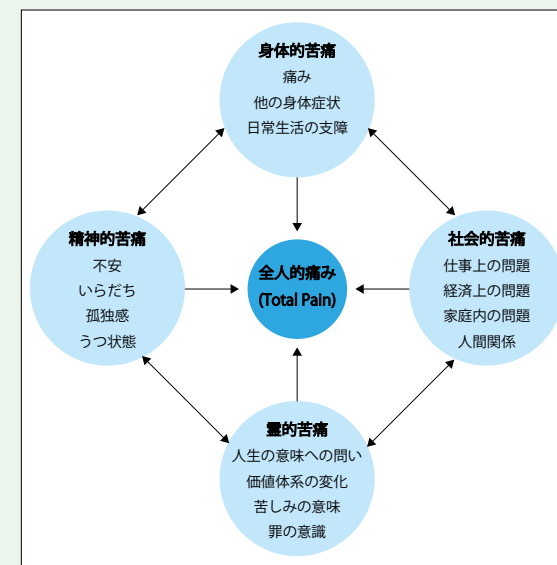
みなさんは緩和ケアという言葉を知っていますか？緩和ケアとは、体の痛みや心のつらさ、薬の治療による副作用などを和らげることです。

主にがんの方々が対象にされてきましたが、現在は心臓や肺の慢性疾患、認知症、老衰など全ての方々にも対象が広がっています。

緩和ケアでは、体の苦痛も身体だけでなく心や人間関係等、様々な問題が重なりあって現れているとも考えます（図 1）。

身体の痛みは我慢していると眠れなくなったり、不安が強くなったり、日々の生活でも食事が摂れない、休息が出来ないなどつらさが増えて、気持ちも落ち込んでしまいます。その人にあったお薬の調整、副作用対策を行っていき、治療や仕事、家事など日常生活を安心して過ごせるようサポートします。

図 1



病気が進んでくると体が思うように動かなくなったり、やりたいことができなくなったりしていきます。気持ちのイライラや怒り、この先はどうでもいいという気持ちにもなってしまいます。そういう時にも緩和ケアでは気持ちを聴くというケアを行っています。どんな時期にでも希望があるからです。その希望は、奇跡が起こってほしい、また歩いてみたい、家族が元気でいてほしいなど、その方の生きがいに関する希望です。苦しみや悩みをともに見つめることで、苦しみは軽減すると言われています。また、人それぞれ希望、価値観は違いますが、緩和ケアではそれらを大切に、かつ支えていきます。

また、緩和ケアでは患者さんだけではなく、そばにいるご家族のケアも行います。患者さんの苦しみをそばでみていて辛い、何もしてあげることができないと感じるご家族は「第 2 の患者」とも言われています。看病で自身の体調の変化に気づかないときもありますし、ときには病気になったのは自分のせいだと自分自身を責めている方もいます。

以上、緩和ケアについて簡単にまとめてきましたが、ご理解頂けたでしょうか？大和診療所では緩和ケアを含め、様々な相談が必要な方のための「よろず相談外来」を始めます。ご希望される方は、大和診療所までお電話をください。（電話：57-2053）

ハイイロゴケグモにご注意

ハイイロゴケグモは、亜熱帯地方原産の小型の毒をもったクモです。日本には、資材等の輸入の際に紛れ込んで侵入したものと考えられ、奄美大島でも発見されています。攻撃性は低いと言われていますが、咬まれることがあり痛みをとまいません。また、毒をもっているのはメスだけです。ハイイロゴケグモは、家庭用殺虫剤や熱湯等で駆除することができますが、素手で捕まえたり、さわらないように気をつけてください。また、咬まれた場合は速やかに医療機関へご相談ください。咬んだクモの種類がかわるように、できれば殺したクモを病院へご持参ください。

■生息する場所

- ・日当たりの良い暖かい場所で、地面や人工物のあらゆる窪みや穴、裏側、隙間に営巣します。
- ・屋外に置かれていた傘、衣類、おもちゃ等に付着して、屋内に持ち込まれる可能性があります。
- ・屋外で作業する場合は、軍手など手袋を着用してください。



写真提供：環境省

アルコール依存症について

AA（アルコホーリクス・アノニマス＝無名のアルコール依存者たち）とは、自らの飲酒に問題があり、その飲酒のとりわれから回復しようという人たちの自助グループです。「酒をやめたいという願いがある」ということだけがAAメンバーの条件であり、それ以外の事は一切問われません。

このたび、私たちAAあまみアダングループは、「オープンスピーカーズミーティング」を開催させていただきます。

このミーティングの中で、かつての問題飲酒者である私たちがどうやって飲酒へのとりわれから解放されたのか、メンバーがそれぞれの体験を語ります。

また、専門家の先生、行政関係者の講演など内容は盛りだくさんです。

お酒の問題で悩んでいる本人、ご家族医療・福祉・保健・教育・厚生保護・他関係者の皆様、また関心のある方はどなたでも参加できます。多くの方のご来場をお待ち申し上げます。

- 開催日時：平成27年10月24日（土曜日）午後1時10分～4時40分（12時30分開場）
- 会場：名瀬公民館金久分館2回研修室
- ※参加費無料、会場出入りは自由です。
- 主催：AAあまみアダングループ
- 電話：090-3400-7461

（担当 求）

青少年育成・家庭・育児の日

県では、「青少年育成の日」、「家庭の日」、「育児の日」を毎月定め、県民一体となった「郷土（ふるさと）に学び・はぐくむ青少年運動」を展開しています。

■毎月第3土曜日は「青少年育成の日」です。地域活動へ積極的に参加しましょう。また、地域ぐるみで青少年の健全育成に努めましょう。

■毎月第3日曜日は「家庭の日」です。家族のふれあう機会をつくり、明るい家庭づくりに努めましょう。

■毎月19日は「育児の日」です。一人ひとりが、家庭・地域・職場で子育てを支えていく取り組みを積極的に行いましょう。

■問い合わせ先

県青少年男女共同参画課
電話：099-286-2554
E-mail: youth@pref.kagoshima.jp



交通事故防止キャンペーン

アマミノクロウサギは、世界中で奄美大島と徳之島の森だけに生息している、とても希少な動物です。しかし一方で、毎年多くの個体が交通事故で死亡しているという悲しい現実もあります。

ゆとりのある運転を心がけ、生きものたちを思いやりましょう。

■大和村には、アマミノクロウサギが多く生息しています。

■毎年9～12月頃に事故発生数が増加します。

■地図の要注意区間は事故が起きやすいので、アマミノクロウサギが活動する夜間は注意し、特に林道ではゆっくり走行をお願いします。



※ケガをしていたり、死んでいるアマミノクロウサギを発見したら、左記までご連絡をお願いします。

■奄美野生生物保護センター
電話：0997-55-8620

マイナンバー制度が始まります

マイナンバーとは、10月から日本国内の全住民に通知される一人ひとり異なる12桁の番号です。

平成28年1月から国の行政機関や地方公共団体などにおいて、社会保障、税、災害対策の分野で利用されます。

マイナンバーは生涯を通じて利用し、原則変更されません。次のポイントを参考に確実にマイナンバーを受け取り、有効に活用しましょう。

■マイナンバーは住民票の世帯ごとに簡易書留で届きます。間違えて捨てることのないよう十分に気をつけましょう。

■住民票の住所と異なるところにお住まいの方は、通知を受け取ることができない可能性があります。

■簡易書留が届きましたら、内容物（①マイナンバーの通知カード、②「個人番号カード」の申請書と返信用封筒、③説明書）の確認を行い大切に保管しましょう。

■個人番号カードの申請を行うと、平成28年1月以降、本人が市町村の窓口でカードを受け取ることができます。

■問い合わせ先

全国共通ナビダイヤル
電話：0570-20-0178
県庁情報政策課
電話：099-286-2388
099-286-2389

よりそいホットライン

よりそいホットラインは、24時間年中無休で電話相談を受け付けています。

どんなひとの、どんな悩みにもよりそって、一緒に解決する方法を探します。

生活、仕事、住居、自殺念慮、心、家庭お金、病気、障がい、犯罪、性、DV・性暴力、子ども、法律・法的手続き、行政・その他の諸手続き、教育、人間関係、外国籍被災地・原発、その他。電話相談の専門員がお待ちしています。ひとりで抱え込まずに、お電話ください。

■よりそいホットライン

電話：0120-279-338

（フリーダイヤル つなぐ ささぐる）

※音声ガイダンスが流れます。相談したいことを選んでください。

- 1 暮らしの中で困っていること、気持ちや悩みを聞いて欲しい方
- 2 外国語による相談
- 3 性暴力、ドメスティックバイオレンスなど女性の相談
- 4 性別や同性愛に関わる相談
- 5 自殺を考えるほど思い悩んでいる方
- 8 被災者の方で困っている方

※24時間、通話料無料。携帯電話（PHS）、公衆電話からもつながります。全国どこからでもかけられます。

※秘密は守ります。

秋の農作業事故ゼロ運動

9月から10月は「秋の農作業事故ゼロ運動」の実施期間です。

県では、農作業事故の未然防止を広く呼びかけていますが、毎年約15件の死亡事故が発生しています。

農業機械による死亡事故の4割がトラクタで起こっており、そのうち8割が小型機の転落・転倒によるものです。安全キャブやフレームを正しく装着するとともに、シートベルトの着用を心がけましょう。

トラクタによる事故が起きやすい環境は、狭い道での通行、ほ場ぎりぎりでの旋回、雑草が茂った路肩、早朝・夕方の暗い時間です。このような状況をできるだけ避けて作業しましょう。

まだまだ暑い日が続きますので、十分な休養をとり、ゆとりをもって、無理なく農作業を行いましょう。

■問い合わせ先

県庁経営技術課
電話：099-286-3155
FAX：099-286-5593
E-mail: gjutuk@pref.kagoshima.jp



九州電力 からのお知らせ



■台風時の停電情報をチェック！
台風による停電時には、電話がつながりにくくなることがあります。台風等非常災害時の停電情報は左記のホームページでもご確認ください。

■停電への備え

停電時に必要なもの(例)

- 携帯ラジオ □懐中電灯
- 飲料水 □携帯電話の充電器(電池式)
- 乾電池 □ため水(生活用水)

なお、強風で飛ばされるおそれがあるものは、あらかじめしっかり固定しましょう。

■災害が起きたら

切れた電線は感電のおそれがあり大変危険です。絶対に触らず九州電力へご連絡ください。傷ついたり、水につかった電気器具、コードは漏電や火災の原因となります。必ず電気店などで点検ください。（注）集中豪雨時等もご注意ください。

携帯電話版ホームページ
http://kyuden.jp

パソコン版ホームページ
http://www.kyuden.co.jp

■携帯メールサービス
台風による停電時には、ご登録いただいた携帯電話に停電情報をメール配信いたします。詳しくは、上記ホームページをご覧ください。

九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。

大島地区再就業支援セミナー

未就業看護職に対して、最近に看護に関する知識や技術を提供し、職場復帰を容易にすることを目的に平成27年度大島地区再就業支援セミナーを開催します。

■開催日：平成27年11月10日（火）～11月20日（金）のうち3日間

■講義：平成27年11月10日（火）および11日（水）9時30分～16時10分

■実務研修：平成27年11月16日（月）～20日（金）のうち1日間※日程は調整可能

9時～16時・県内の医療機関、訪問看護ステーションまたは老人保健施設※施設は選択できます。

■実施場所：奄美市AMひろば

■受講対象：未就業、または再就業1年未満の保健師・助産師・看護師・准看護師

■受講料：無料※ただし、諸経費として2千円を初日受付時に徴収します。

■その他：講義日のみ託児を実施します。御希望の方は事前にお申し込みください。

■申込方法：問い合わせ先：看護協会HP (<http://k-kango.jp>) から申込用紙をダウンロードし、郵送、来所またはメールにてお申し込みください。

〈連絡先〉公益社団法人鹿児島県看護協会
鹿児島県ナースセンター
住所：鹿児島市鴨池新町21-5
電話：099-256-8025
E-mail: kagoshima@nurse-center.net

公証週間のお知らせ

遺言や各種契約書は公正証書で作成しましょう。

近年、遺産相続をめぐる争いや、金銭老後の財産管理をめぐるトラブルが増加しています。遺言や養育費の支払、金銭消費貸借、土地・建物の賃貸借契約、任意後見契約など、遺言や大切な各種契約を、公正証書で作成することによって、これらの紛争を未然に予防し、あなたの財産や権利を守るができます。

名瀬公証人役場では、上記公証週間の平日（月曜～金曜）は、午後7時まで相談時間を延長します。相談は無料です。

当役場での相談を希望する方は、電話での予約をお願いします。また、電話での相談も受け付けます。

■問合せ先
名瀬公証人役場
住所：奄美市名瀬幸町12番22号
電話：0997-52-2661

■問合せ先
大和村役場 保健福祉課
電話：57-2218（担当：田中）

特定健診を受診しましょう
特定健診を受けていない方へ
特定健診の費用は村が全額負担します。ぜひ大和診療所などで受診しましょう。

洗濯機の安全なご利用ポイント

小さなお子様のおられるご家庭の皆様へ
ドラム式洗濯乾燥機は謝った使い方をすると、中に閉じ込められて窒息したり、やけどや感電、けがをするなど危険な状態になるおそれがあります。取扱説明書の記載内容を守るとともに、特に小さなお子様がおられるご家庭では、洗濯機を使用されていない時にもお子様が容易に開けられないように「チャイルドロック機能」の活用などをお願いします。

・お子様にドラム内をのぞかせない！
ドアが閉まると閉じ込められて窒息したり、やけど、けがなどのおそれがあります。

・こんな時は故障のおそれがあり危険です。
コンセントなどに触れて感電したり、ドアに手を挟んでけがをすることがあります。（小学生などのお子様にも周りであどばせないように説明してください）

・チャイルドロック機能の活用を！
各社にて操作方法が異なりますので、取扱説明書を確認していただくか、各メーカーまでお問い合わせください。

・使用後はドアを開けて！
近くに乗りやすい台などを置かないでください。

■一般社団法人 日本電気工業会
住所：東京都千代田区一番町17番地4
電話：03-3556-5887

ご存知ですか？
「中退共」の
退職金制度
なら、掛金
に国の助成
が受けられ
ます。

国の制度だから
安心・確実！

●新規加入や掛金月額を増額する場合、掛金の一部を国が助成します。

●掛金は全額非課税で、手数料もかかりません。

外部積立型だから
管理が簡単！

●従業員ごとの納付状況や退職金試算額を事業主にお知らせします。

●退職金は、中退共から直接従業員へ支払われます。

◎パートさんでも加入
いただけます。

詳しくはホームページをご覧ください。

お気軽にお問い合わせください
（独）勤労者退職金共済機構
中小企業退職金共済事業本部
☎03(六九〇七)二二三四
FAX03(五九五五)八二二一

奄美フォレストポリス

おまみのわくわくしぜん・ワンダーランド

(HP) <http://www.amamiforest.com/> (FB) <https://www.facebook.com/amamiforest> (blog) <http://amamiforest.amamin.jp/>

ホームページ・ブログ・フェイスブックにて情報発信中

島の宝 満1歳おめでとう

宮田 一輝さん
保護者：宮田衣津茂・愛さん（今里）



中山 絹子さん
保護者：中山一三・友美さん（津名久）



事務嘱託員の紹介

津名久集落の事務嘱託員を平成27年8月10日付けで委嘱しました（任期平成28年3月31日・集落区長兼務）。住民サービス向上のため行政を集落民を結ぶパイプ役として期待されます。



津名久集落区長 三田 文磨さん

こせきの窓

人口 1,598 人（△49）
男 778 人（△21）
女 820 人（△28）
世帯 886 戸（△5）

9月1日現在
（前年同月比）

ご結婚おめでとう

江崎 敬士さん（国直）
勝間田 さとみさん（思勝）

ご誕生おめでとう

小浜 悠寿希さん（小浜雅寿・大和浜）

お悔やみ申し上げます

三島 カズ 様（85歳・名音）
赤井 隆造 様（52歳・大金久）
奥田 信正 様（77歳・大柵）

香典返し（社会福祉協議会へ）

三島 寿紀 様（故三島カヅ様）
奥田 カツ子 様（故奥田信正様）
森 勝子 様（故森誠一様）
畑島 健志郎様（故畑島孝子様）

ふるさと納税ありがとうございます

栗根 尚子 様（相模原市）
村岡 忠 様（千葉県）
池畑 隆行 様（鹿児島市）
石川 雅信 様（神奈川県）
長島 実和子 様（埼玉県）
末岡 三穂子 様（東京都）
寺師 一蔵 様（愛知県）
小田 サエ 様（千葉県）
福原 輝義 様（さいたま市）

広報誌謝礼ありがとうございます

晨原 弘久 様（龍郷町）

野山の



名越左源太さんも味わった なつかしや味

イタジイ



第15回

「今日、椎の蒸し菓子を貰った。美味しかった。」

「南島雑話」で知られる薩摩藩士・名越左源太がこう書いたのは嘉永3年（一八五〇年）、今から165年前のことです。名越左源太が奄美大島で過ごした幕末の時代もそうですが食料供給が安定する近代まで、奄美大島の主要樹木であるイタジイの実は長く保存ができるため救荒食としてソテツに並び凶作に備える大切な食料源でした。シイの実が落ちる季節になると、島民は朝も暗いうちからシイの実拾い（シーヒレ）にそろって出かけていきました。拾った実は、茹でてから乾燥させ一年を通して保存され、冒頭の椎の蒸し菓子のほか、椎飯、粥、味噌、焼酎などに加工されて島民の食生活を支えていました。明治後期から鉄道の枕木として需要があり伐採が行われたため、シイの数は少なくなつたものの、昭和30年代頃まではシイの実を買い取りにくる商人もおり、特に女性や子どもたちが熱心にシーヒレをする姿が見られたそうです。

さて、名越左源太が食した「椎の



蒸し菓子」とはどんなものだったのでしょうか。今村規子著「名越左源太の見た幕末奄美の食と菓子」（南方新社）によると、椎の蒸し菓子とは、シイの実ともち米を粉にして、水を加えてサラサラにしたものを蒸したものだそうです。お餅のような柔らかいものだったのか、それとも蒸し羊かんのような食感のものだったのでしょうか。想像は膨らみます。きっと、当時の島民のあいだでは、シイの実の香ばしさとほんのりとした甘みが口に広がる美味しいおやつとして楽しまれていたのでしょう。シイの実を使ったお菓子や食事は名越左源太もお気に入りだったようです。

今ではシーヒレをすることは少なくなりましたが、一昔前までは煎つておやつに食べることも珍しくなかったように思います。身近にある木々を見渡してみると今でもシイはたくさんあります。シイの実は豊作の年、不作の年があるようですが今年の樹勢はどうでしょうか。この秋、昔の人々の日常に想いをさせてシーヒレに出かけてみませんか。



←バーコード読み取り機能付き携帯電話をご利用の方はここから大和村ホームページ携帯サイトへ簡単にアクセスできます。それ以外の方は直接URLを入力してアクセスしてください。
(<http://www.vill.yamato.lg.jp/i/>)

発行・編集 大和村役場総務企画課
〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100番地
TEL 0997-57-2111 FAX 0997-57-2161
mail:info@vill.yamato.lg.jp
<http://www.vill.yamato.lg.jp>